

# 2021 年度 事業計画書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

## 1. 2021 年度事業実施の方針

新型コロナウイルス感染拡大が始まって1年が経過しました。人の動きが制限され、人・もの・お金の流れが大きく変わりました。医療現場では、コロナ感染により入院ベッドが逼迫し、入院を希望しても入院できずに自宅待機のまま亡くなる報告がありました。これは、人口減少時代にあって看取り難民が予想される近未来を先取りした社会課題の1つと考えます。やがてコロナ感染は終息していくことでしょう。しかし、超高齢少子多死時代において、社会保障の脆弱化は、ますます大きな社会課題となります。

エンドオブライフ・ケア協会が大切にしてきた取り組みは、人生の最終段階の人が抱えるような不条理で理不尽な思いで苦しんでいる人への援助です。人は、たとえいのちが限られる苦しみを抱えたとしても、穏やかな時間を過ごし、他の人に優しくなることができます。その関わり方を、一部のエキスパートだけではなく、皆がわかる言葉で伝え、具体的に行動できるようになるための活動を大切にしてきました。

格差が広がる社会にあって、社会的孤立で苦しむ人は増えていきます。誰一人取り残されない社会を実現するためには、地域で苦しむ人に気づき、行動できる担い手が必要です。そのマインドは、高度経済成長が期待し難い社会において、国民一人ひとりが Well-being（実感としての豊かさ）を感じられる社会の実現に向けた活動の基盤となると考えます。活動を開始して7年目を迎え、2021 年度がその輪を着実に広げる1年となりますよう、皆様のご支援をよろしく願いいたします。

代表理事 小澤 竹俊

### (1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成

2021 年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、基本的には、主催する研修・イベント等はオンライン開催として計画する。対面による集合研修は、2021 年度後半、感染状況を見ながら、ワクチン接種を終えた人を対象に企画することも検討する。

エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座のオンライン開催については、土日午後2回、平日夜4回、に加えて、平日昼2回も、引き合いに基づき開催を検討する。

各地域や職能団体主催によるインハウス研修、依頼講演等については、現地の感染状況に基づき主催者の判断も踏まえ、開催判断や形態を協議する。

## **(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動**

各地の認定 ELC ファシリテーターや「折れない心を育てる いのちの授業」認定講師がそれぞれのコミュニティでオンラインを含めて活動ができるように支援する。

認定 ELC ファシリテーターと引き続き綿密な連携を図り、主催する講座やイベントでの活動を通してスキルアップする機会に限らず、IT ツールの活用やファシリテーション等について、学び合いの機会を認定 ELC ファシリテーター主導で行えるよう支援していく。

## **(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化「折れない心を育てる いのちの授業」**

2020 年度に引き続き、講師を育成し、各自が対面ないしオンラインで授業が実施できるよう推進する。講師トレーニングはオンラインで年間 4 回開催。3 か月ごとのサイクルで、受講・評価・認定プロセスを運用する。

また、認定後、講師が自信を持ってオンラインなどで授業を実施できるようになったり、学校等の場へ授業実施を提案に伺えるようになったりすることを目指し、認定講師がお互いの経験から学び合える学習会を毎月開催する。その企画・運営も、認定講師が主体となって行う。認定講師が活躍できる場を増やしていくべく、弊協会からも各所へ働きかけていく。

なお、持続的な運用に向けては、教材の拡充、プロモーションも重要であると考えたとき、今後は財源確保が大きな課題となる。寄付、助成、企業連携等の可能性を検討する。

## **(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み**

2021 年度も、学会・研究会等における教育講演、ポスター発表等を通じて活動成果を可視化していくほか、エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座に基づいた研修効果検証に引き続き協力していく。

特定地域において、希望する場所で最期を迎える体制づくりとして、もしもに備えた地域コミュニティのあり方を、現地人材と協働のもと、調査研究していく。

1 月から継続する SMBC 日興証券プロボノワークを通して、中期ビジョン策定に向けて協働していく。

## (5) 現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える

職種を問わず、対人援助に関心のある方であればどなたでも参加できる機会として、問いをベースにした対話型オンラインイベント「新型コロナ・ショックに備えて最強のチームをつくろう」を今年度も毎月第三火曜日に開催していく。

また、将来世代が活動に関心を示し、若手と経験者が相互の取り組みから学べる機会を大切にしたいと考え、交流イベントを開催する。これにあたり、学生団体等とも引き続き連携する。

家族介護のために仕事を辞める人が年間 10 万人と言われるなか、介護から看取り、グリーフケアを含め、働く世代の支援ニーズが増加していることに鑑み、今後も関連団体と協働していく。

## II. 2021 年度事業計画

事業名/活動内容	実施日・頻度等	実施場所	人数 (人)
(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成			
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (公開講座)	年 16 回 (土日 2 回、 平日夜 4 回)	オンライン	300
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (インハウス研修)	年 4 回程度	各地域	160
「認定エンドオブライフ・ケア援助士」の認定	通年	事業所	200
(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動			
「認定 ELC ファシリテーター」の認定・更新	通年	事業所	30
地域学習会 (認定 ELC ファシリテーターによる学習会)	通年	オンライン/ 各地域	3,000
(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化「折れない心を育てる いのちの授業」			
「折れない心を育てる いのちの授業オンライン」 (公開授業)	年 6 回	オンライン	300
認定講師による授業	通年	オンライン/ 各地域	6,000
講師トレーニング	年 4 回	オンライン	200
「折れない心を育てる いのちの授業 認定講師」の認定	通年	オンライン	80

認定講師の学び合い	年 12 回	オンライン	120
個別フォローの仕組みづくり	通年	－	－
(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み			
書籍出版	通年	－	－
メディア掲載・出演	通年	－	－
研究・学会発表・論文投稿	通年	－	－
特定地域における在宅看取りを支える体制づくり	通年	－	－
(5) 現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える			
設立 6 周年シンポジウム	2021/4/17	オンライン	300
「新型コロナ・ショックに備えて最強のチームを作ろう」	毎月第 3 火曜日	オンライン	1,000
若手との交流	通年	オンライン	100
企業向け研修	通年	オンライン	100
他団体連携（親の介護と仕事の両立ほか）	通年	－	－

### Ⅲ. 法人運営

#### (1) データベース等システムの刷新

会員ならびに利用者の増加、提供サービスの多様化に伴い、システムの処理が複雑化しており、この刷新を前年度から引き続き行う。問い合わせの増加とこれに対する対応については、コンタクトセンター機能のあるソフトウェアを導入した上でオペレーションの改善を図る。

#### (2) グッドガバナンス認証の取得

非営利組織として必要な運営基準に則り、持続可能な法人運営を行うために、第三者認証として一般財団法人 非営利組織評価センター（JCNE）による、グッドガバナンス認証の取得を視野に、情報を整備する。

以上